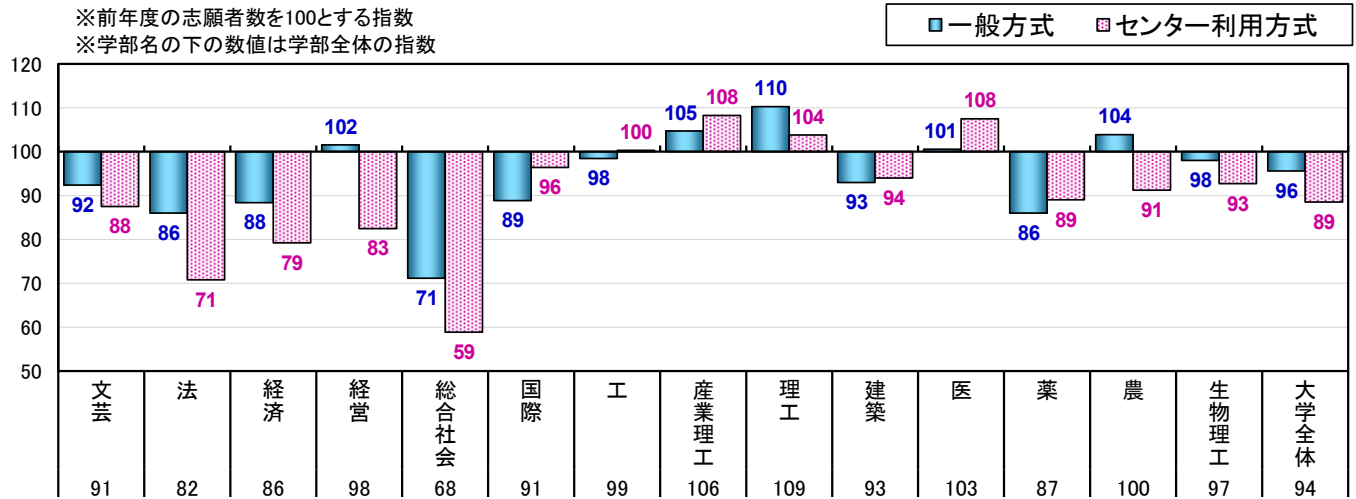


2020 年度入試状況分析【私立大】

近畿大：大学全体では2年連続減少、文系6学部は全て減少 一般：-5,110人 センター：-4,242人



入試変更点 選抜方法：新規実施…国際<セ・C前期1科目><セ・C前期2科目>
理工<セ・C前期5科目>
入試科目：建築<セ・C前期>…数1科目(II・B)→2科目(I・A、II・B)
<セ・C中期>…4教科必須(国+数2+理+外)→5教科から3教科選択
募集人員：医<前期A>…65人→55人

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、9,352人(94)のやや減少で2年連続減少だが、志願者数は7年連続で全国最多。文理別では、理系8学部合計(102)では微増したが、文系6学部は全て減少し、合計では(87)の減少。

- <一般方式>
- 文芸(92)は、2年連続減少。学科・専攻別では、(芸術/舞台芸術)(127)、(芸術/造形芸術)(122)は大幅増加だが、他の学科・専攻は減少。特に(文/英語英米文)(76)は大幅減少。
 - 法(86)は、系統への人気低下で3年連続減少。
 - 経済(88)は、系統への人気低下で2年連続減少。3学科全てが減少し、(総合経済政策)(73)は2年連続大幅減少。
 - 経営(102)は、系統への人気は低下しているが、微増で2年ぶりに増加。学科別では、(経営)(113)の増加、(キャリア・マネジメント)(82)の大幅減少が目立った。(キャリア・マネジメント)は6年ぶりに減少。
 - 総合社会(71)は、系統への人気低下で大幅減少し、6年ぶりに減少。3専攻全てが減少し、(総合社会/環境・まちづくり系)(59)、(総合社会/社会・マスメディア系)(69)は大幅減少。
 - 国際(89)は、系統への人気低下で3年連続減少。専攻別では、(国際/東アジア)(118)は大幅増加、(国際/グローバル)(83)は大幅減少で3年連続減少。
 - 産業理工(105)は、やや増加で11年連続増加。
 - 理工(110)は、4年連続増加。学科・コース別では、(電気電子工)(132)、(理/化学)(122)、(機械工)(120)、(理/数学)(118)が大幅増加。一方で、(生命科学)(84)は大幅減少。
 - 建築(93)は、やや減少で2年ぶりに減少。
 - 医(101)は、微増だが4年ぶりに増加。方式別では、<前期A>(93)はやや減少だが、募集人員減少で志願倍率は20.4倍→22.5倍とアップ。<後期>(116)は大幅増加。
 - 薬(86)は、系統への人気低下が続き3年連続減少。学科別では、(創薬科学)(103)はやや増加で2年連続増加だが、(医療薬)(82)は大幅減少で3年連続減少。
 - 農(104)は、やや増加で3年ぶりに増加。学科別では、(環境管理)(91)、(農業生産科学)(96)は減少したが、他の4学科は増加し、特に(応用生命化学)(117)、(生物機能科学)(115)は大幅増加。

2020 年度入試状況分析【私立大】

<センター利用方式>

- 文芸(88)**は、6年ぶりに減少。学科・専攻別では、(芸術／舞台芸術)(122)は大幅増加だが、他の学科・専攻は減少。(文／英語英米文)(68)、(芸術／造形芸術)(72)、(文化デザイン)(83)は大幅減少。
- 法(71)**は、系統への人気低下で大幅減少し、2年連続減少。
- 経済(79)**は、系統への人気低下で大幅減少し、2年連続減少。3学科全てが2年連続減少し、(総合経済政策)(67)、(経済)(79)は大幅減少。
- 経営(83)**は、系統への人気低下で大幅減少し、2年連続減少。4学科全てが減少し、特に(キャリア・マネジメント)(73)、(商)(82)は大幅減少。
- 総合社会(59)**は、系統への人気低下に加え、5年連続増加の反動で大幅減少。
- 国際(96)**は、やや減少だが、新規実施方式を除くと(61)の大幅減少。
- 産業理工(108)**は、やや増加で2年ぶりに増加。
- 理工(104)**は、やや増加で4年連続増加だが、新規実施方式を除くと(80)の大幅減少。学科・コース別では、(理／化学)(150)、(理／数学)(126)の大幅増加、(生命科学)(76)の大幅減少が目立った。大幅増加の2コースは、いずれも新規実施方式を除いても増加。
- 建築(94)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少に留まった。方式別では、数学を1科目から2科目必須にした<セ・C前期>(85)が大幅減少。一方で、負担減に変更の<セ・C中期>(257)は激増。
- 医(108)**は、2年ぶりに増加。方式別では、<セ・中期>(129)、<セ・後期>(115)が大幅増加。
- 薬(89)**は、系統への人気低下が続き2年連続減少。学科別では、(創薬科学)(113)は2年ぶりに増加したが、(医療薬)(81)は2年連続大幅減少。
- 農(91)**は、2年ぶりに減少。学科別では、全学科が前年度と逆の増減で、(生物機能科学)(110)のみ増加。(環境管理)(81)、(水産)(83)は大幅減少。